

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(交通施設:錦見43号線改良舗装事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市錦見四丁目地内ほか						
補助事業の成果の目標	<p>本路線は、道路側溝及び舗装が老朽化していることから、降雨時に雨水が溜まり、車両が通行すると周辺家屋等に雨水が飛散し、地域住民の快適な生活に支障をきたしているところである。</p> <p>このため、本路線の道路側溝工事及び舗装工事を行い、周辺家屋への雨水の飛散を防止することで、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	改良舗装工事 延長L=866m 幅員W=4.45m～6.79m						
補助事業の始期及び終期	平成23年度～平成30年度						
事業費及び交付金額		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
		円	円	円	円	円	円
	事業費				5,000,000		11,360,000
	交付金額				5,000,000		9,800,000
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	13,000,000	21,310,000	2,760,000	17,430,000	15,230,000	86,090,000
	交付金額	12,500,000	19,800,000	2,600,000	17,200,000	15,220,000	82,120,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、車両の通行による雨水の飛散防止が改善され、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。</p> <p>また、沿線住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者27人中26人から「改善した」、または「おおむね改善した」との回答を得ることができた。</p> <p>本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板及び工事案内文に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、近隣住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(交通施設:由東74号線舗装事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市由宇町中村地内						
補助事業の成果の目標	市道由東74号線は、舗装が老朽化していることから、周辺住民の快適な生活や車両の通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の舗装工事を行い、車両の走行性を向上することで、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	舗装工事 延長L=938m 幅員W=5.2m~7.4m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度~平成30年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	4,150,000	4,720,000	11,970,000	8,180,000	12,530,000	41,550,000
	交付金額	4,100,000	4,100,000	10,200,000	8,100,000	10,700,000	37,200,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、車両の走行性が向上し、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。 また、沿線住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者13人中12人から「改善した」、または「おおむね改善した」との回答を得ることができた。 本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板及び工事案内文に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、近隣住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分量及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(交通施設:南岩国町67号線改良事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市南岩国町四丁目地内						
補助事業の成果の目標	本路線は、幅員が狭く、離合場所もないため、安全な通行に支障をきたしている。 このため、待避所を整備することで車両通行の安全を確保し、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	改良工事 延長L=40m 幅員W=5.0m						
補助事業の始期及び終期	平成29年度～平成30年度						
事業費及び交付金額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額				7,098,000	4,200,000	11,298,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、支障となっていた対向車との離合困難が解消され、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。</p> <p>また、沿線住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者31人中30人から「改善した」、または「おおむね改善した」との回答を得ることができた。</p> <p>本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板及び工事案内文に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、近隣住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(消防に関する施設:消防車庫整備事業(藤河)) 整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市関戸334-1						
補助事業の成果の目標	<p>岩国市消防団岩国西方面隊藤河分団第1部消防車庫については、昭和50年に建築されてから43年が経過し、老朽化によるコンクリートのひび割れ等が著しいことから、早期建て替えが必要となっている。</p> <p>消防車庫の建て替えに併せ、ホース洗い場等を新設することで、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。</p>						
補助事業の内容	藤河分団第1部消防車庫の新築整備(鉄骨造二階建39.96㎡)						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から平成30年度						
事業費及び交付金額		29年度	30年度				計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	2,160,000	20,638,800				22,798,800
	交付金額	2,061,000	19,674,000				21,735,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制が整備できた。</p> <p>また、分団員へのアンケート調査の結果、新築した消防車庫が従前の消防車庫と比較し、集合及び出動に適しており、また、迅速かつ確実な消火活動が行える体制の整備に貢献していると思うという評価であり、その理由として、「消防車両の出し入れがし易くなった」「トイレが整備された」「収納棚があり資機材の整理を行いやすい」「ホース洗い場で使用後のホースをすぐに洗うことができ、次の出動に備えやすい」等の意見であった。</p> <p>本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板、工事案内文及び消防車庫へ掲示、市ホームページへの掲載などで地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、老朽化した消防車庫の新築整備又は改修を行うことにより、消防力の向上を図り、地域住民の生活環境の改善を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(消防に関する施設:消防ポンプ自動車整備事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市消防団 岩国東方面隊 愛宕分団第3部消防車庫 (岩国市門前町二丁目35番2号)						
補助事業の成果の目標	本市の岩国東方面隊愛宕分団第3部に配備している消防ポンプ自動車は、すでに耐用年数を超過しており、交換用部品の入手困難となっている状況である。今後、不具合が発生した際には、修理不可能となる事態が想定される。 このため、老朽化した消防ポンプ自動車を更新することで、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車 1台(CD-I型)						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度					計
	事業費	12,852,000	円	円	円	円	円
	交付金額	12,852,000					12,852,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消防活動が行える体制が整備できた。 また、分団員へのアンケート調査の結果、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制の整備に貢献すると思うという評価が100%であり、その理由として、「ホースカーが常設化された」「操作が簡略化された」「吸管が便利になった」等の意見であった。 当該事業が交付金事業である旨を車両本体に記載し、地域住民の周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、計画的に消防車両を更新することにより、消防力の向上を図り、地域住民の生活環境の改善を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：愛宕山運動施設整備事業）整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市愛宕二丁目地内						
補助事業の成果の目標	愛宕山運動施設陸上競技場に陸上競技及びサッカーに関する備品を整備し、第4種の公認競技場として承認を得ることにより、公式な競技会の開催が可能となることから、公式な競技会の開催や日米交流記録会等を通じ、スポーツ活動を促進し、競技者間や日米の交流の推進を図る。						
補助事業の内容	陸上競技及びサッカーに関する備品設置						
補助事業の始期及び終期	平成30年1月15日から平成30年3月15日まで						
事業費及び交付金額		29年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	13,428,288					13,428,288
	交付金額	13,428,000					13,428,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により、陸上競技及びサッカーに関する備品を整備し、日本陸上競技連盟より第4種公認競技場として認可され、公式な陸上競技会等の開催が可能となった。</p> <p>平成30年7月8日に開催した「日米親善陸上競技大会」で実施したアンケート調査では、スポーツ活動の促進や競技者及び日米交流の推進に、「効果がある」との回答率が高く、日米交流の取組に対する効果についても高い割合で「効果があった」との評価を得た。陸上競技の競技力向上にあたっては、「定期的な大会・記録会の開催」を求める回答率が最も高かった。</p> <p>また、陸上競技備品を利用された個人利用者は、平成30年7月から12月までの間、1,605人の使用があり、スポーツ活動の促進に大きな役割を果たした。</p> <p>サッカーゴール等の備品は、平成30年7月から12月までの間、249件の使用により、中高生をはじめ多くの競技者に活用された。アンケート調査においては、「練習環境が劇的に変わった」「人工芝で気軽にサッカーが楽しめるようになった」などの高い評価が得られた。なお、本事業は、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨をアンケート及び陸上競技場内に表記し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：愛宕山運動施設整備事業）整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市愛宕二丁目地内						
補助事業の成果の目標	愛宕山運動施設陸上競技場に、日本陸上競技連盟の公認記録としての計測を可能とする写真判定システムを導入し、陸上競技の競技人口の増加と競技者等の交流の促進を図る。						
補助事業の内容	陸上競技における写真判定装置設置						
補助事業の始期及び終期	平成30年12月3日から平成31年3月28日まで						
事業費及び交付金額		平成30年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	6,813,298					6,813,298
	交付金額	6,813,000					6,813,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業により、愛宕山運動施設陸上競技場に、写真判定装置システムを整備し、日本陸上競技連盟の公認記録としての計測が可能となり、公式の大会や競技会を開催できる競技場となった。</p> <p>平成31年4月14日には「岩国市陸上競技協会記録会」を開催したほか、平成31年4月20日、21日には、「山口県春季岩柳地区高校陸上競技大会」が開催され、山口県高校総体の支部予選を兼ねる大会が実現した。全27種目、368名の選手がエントリーし、岩柳地区の10校の高校生が交流を深めることができた。</p> <p>令和元年5月に実施したアンケート調査では、陸上競技人口の増加や競技者間の交流に「効果がある」との回答率が高く、意見では「大会に対する意識が高くなった」「競技力向上や、競技人口の増加・交流につながる」などの高い評価が得られた。</p> <p>なお、本事業は、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨をアンケート及び陸上競技場内に表記し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	利用実績及びアンケート調査の結果を踏まえ、陸上競技協会との連携により、公式な競技会等を計画・実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市学校給食運営基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	学校給食において、児童及び生徒の食に関する正しい理解と望ましい食習慣を養うとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	学校給食の無償化						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和5年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 以降	計	
	事業費	円 18,997,200	円 402,790,812	417,323,000	円 1,232,543,580	円 2,071,654,592	
	基金 造成 額	交付金額	190,000,000	559,595,000	524,793,000	796,157,000	2,070,545,000
		市町村費					0
		その他					0
		運用益	2,054	114,797	214,974	777,767	1,109,592
		計	190,002,054	559,709,797	525,007,974	796,934,767	2,071,654,592
		基金処分類	0	18,997,200	402,790,812	1,649,866,580	2,071,654,592
	基金残額	190,002,054	730,714,651	852,931,813	0	0	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことで、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりが推進された。</p> <p>また、小中学校長等へのアンケート調査を行い、保護者の経済的負担の軽減がされており安心して子育てができるまちづくりが進んでいる等の回答を得ている。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <p>(1)市広報紙へ記載 (2)新入学児童生徒に対し周知文書の配布 (3)アンケート用紙に記載 (4)ホームページへ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(住民の生活の安全に関する事業:岩国市防犯設備基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	市民生活に悪影響を及ぼす犯罪、事故等を未然に防止する環境を醸成し、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	防犯灯電気料金の助成						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和5年度						
事業費及び交付金額		29年度	30年度	令和元年度 予定	令和2年度 以降	計	
	事業費	円 3,392,920	円 31,706,671	円 24,861,000	円 74,876,000	円 134,836,591	
	基金 造成 額	交付金額 73,000,000	17,210,000	26,364,000	18,121,000	134,695,000	
		市町村費				0	
		その他				0	
		運用益	1,018	34,726	31,902	73,802	141,448
		計	73,001,018	17,244,726	26,395,902	18,194,802	134,836,448
	基金処分額	0	3,392,920	31,706,671	99,736,857	134,836,448	
	基金残額	73,001,018	86,852,824	81,542,055	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業について、自治会へのアンケート調査を行い、「事故防止に役立っている」「町内全体が明るくなり広範囲で障害物等の確認が出来るようになった」「防犯に役立っている」等の回答を得ているところであり、犯罪、事故等を未然に防止する環境が醸成され、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりの推進に貢献していることを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを広報紙、ホームページ及び自治会ハンドブック等に掲載することで、市民全体に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市日米交流基金事業)					
補助事業者名	岩国市					
実施場所	市内全域					
補助事業の成果の目標	教育、スポーツ、文化活動等の日米交流事業を通じて、日米の相互理解及び友好の絆を深めることにより、国際感覚の豊かな人材育成ができるまちづくりを推進する。					
補助事業の内容	日米交流事業及び愛宕山運動施設の管理運営					
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和5年度					
事業費及び交付金額		29年度	30年度	令和元年度 予定	令和2年度 以降	計
	事業費	12,038,266	73,613,600	90,180,000	270,529,382	446,361,248
	基金 造成 額	90,000,000	136,834,000	92,401,000	126,765,000	446,000,000
	交付金額					
	市町村費					0
	その他					0
	運用益	6,805	54,863	75,524	224,056	361,248
計	90,006,805	136,888,863	92,476,524	126,989,056	446,361,248	
基金処分類	0	12,038,266	73,613,600	360,709,382	446,361,248	
基金残額	90,006,805	214,857,402	233,720,326	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教育・スポーツ・文化等に関する日米交流事業として下記3事業を実施したほか、平成30年7月7日に全ての施設が供用開始された愛宕スポーツコンプレックスの運営・管理に関する事業において、日米交流を通じての相互理解や、日米の親善を深める取り組みを展開した。</p> <p>平成30年11月4日に開催した「スピーチコンテスト」では米国人児童25人が日本語で、また市民等67人の児童が英語でスピーチを行い、日米の児童が学んだ言語を通じて交流を図った。アンケート調査では、「日米の相互理解及び友好の絆を深め、国際感覚の豊かな人材育成ができるまちづくり」の推進に効果があるとの回答率が高く、日米における親近感の醸成に効果があるとの肯定的な意見があった。</p> <p>平成30年12月2日には、供用開始された愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場で「第2回日米親善リレーマラソン」を開催した。エントリー数203チーム、日米約2,000人の参加があった。アンケート調査の結果、「市と米軍基地が共催しているような雰囲気、国際交流を強く感じた」や「アメリカ人の方としゃべる機会があり、交流が深まった」などの肯定的な意見が多く、1本の襷をつなぐことにより、日米の友好と絆を深めることにつながったことが確認できた。</p> <p>平成31年3月3日には、「カルチャーフェスティバル」を開催し、米国人約200人が日本の異文化を通じて交流を深めた。アンケート調査では、「米国人と触れ合える機会として非常に良い」などの市民からの意見や、米国人からは、「全て素晴らしい経験であった。特に着物の着付けはよかった」などの肯定的な意見が多く、異文化を通じた交流により親善を深め、日米の相互理解につながったことが確認できた。</p> <p>なお、本事業が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市ホームページ、施設掲示板、市報、イベントポスター・ちらし及びアンケート用紙に掲載し、地域住民への周知を図った。</p>					
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施していく。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（医療に関する事業：こどもインフルエンザ予防接種助成事業）									
補助事業者名	岩国市									
実施場所	岩国市									
補助事業の成果の目標	本市では、インフルエンザ予防接種助成制度は、65歳以上の高齢者にしかなく、こどものいる家庭においてインフルエンザ予防接種は経済的に大きな負担となっている。 このため、乳幼児、小・中学校において、インフルエンザ予防接種の助成を実施し、保護者の経済的な負担を軽減することで、インフルエンザの蔓延を防止し、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。									
補助事業の内容	こどものインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助する。									
補助事業の始期及び終期	平成28年10月から令和5年3月まで									
事業費及び交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	計	
	事業費	円 38,533,979	円 34,773,800	円 40,000,000	円 45,170,360	円 45,170,360	円 45,170,360	円 6,630,895	円 255,449,754	
	基金 造成額	交付金額	204,000,000	51,000,000						255,000,000
		市町村費	0	0						0
		その他	0	0						0
		運用益	19,014	168,553	91,608	80,637	55,587	30,774	3,581	449,754
		計	204,019,014	51,168,553	91,608	80,637	55,587	30,774	3,581	255,449,754
	基金処分類	0	38,533,979	34,773,800	40,000,000	45,170,360	45,170,360	51,801,255	255,449,754	
基金残額	204,019,014	216,653,588	181,971,396	142,052,033	96,937,260	51,797,674	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	保護者を対象にアンケート調査を行ったところ、「この助成制度は子育て支援の一環になっている」という回答が99%得られ、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に貢献できていることを確認した。 また、当該事業が交付金事業である旨を市広報誌及び市HPへの掲載、乳幼児健診時のチラシ及びアンケート用紙への記載により、地域住民への周知を図った。									
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図りたい。									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

- 注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。
- 2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：岩国市学校空調設備維持管理事業）							
補助事業者名	岩国市							
実施場所	岩国市市内各地							
補助事業の成果の目標	本市の市立小学校及び中学校は、空調設備が未整備の施設が多いことから、夏季に教室等の温度が上昇し、児童生徒に集中力の低下や体調不良が見られるなど、学校環境が悪化しているところである。 学校環境の改善を図るために整備した空調設備の維持管理を適切に行い、安定的な運用を行うことで、児童生徒が快適に学習できる環境を整える。							
補助事業の内容	空調設備の維持管理							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から令和8年度							
事業費及び交付金額		27年度 まで	28年度	29年度	30年度	31年度 予定	計	
	事業費	円 8,231,974	円 7,900,380	円 12,835,948	円 14,930,979	円 19,109,812	円 63,009,093	
	基金 造成 成額	交付金額	156,121,000	0	0	0	0	156,121,000
		市町村費						
		その他						
		運用益	157,031	140,478	139,166	94,665	62,281	593,621
		計	156,278,031	140,478	139,166	94,665	62,281	156,714,621
	基金処分額	3,290,962	4,941,012	7,900,380	12,835,948	14,930,979	43,899,281	
	基金残額	152,987,069	148,186,535	140,425,321	127,684,038	112,815,340		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、空調設備の維持管理を適切に行うことができ、安定的な運用が可能となった。 また、各学校へのアンケート調査を実施した結果、本事業が児童生徒に対して快適な学習環境を提供することができている旨の回答を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることについては、空調機器に記載及びホームページへの掲載を行い、地域住民へ周知を行っている。							
事業の改善措置及び今後の対応	現場の使用状況や、アンケート結果を参考にして事業を実施							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。